

耳や言葉の不自由な方が外出先で電話をご利用いただく際のコミュニケーションツール
「電話お願い手帳」（2016年版）の発行および寄贈式について

～1983年に発行以来、毎年発行し今年で34年目となります～

西日本電信電話株式会社京都支店（支店長：佐々木康之、以下、NTT西日本）では、CSR活動の一環として、2016年版「電話お願い手帳」2,368冊および「ふれあい速達便」2,603冊を、京都府内の各市町様、京都府立聾学校様、京都市聴覚言語障害センター様などに配布しております。

また、弊社の三条ショールーム、宇治“光”ふれあいステーション、京丹後ふれあいステーションにおいても無料配布しております。

「電話お願い手帳」

耳や言葉の不自由な方が、外出先で電話連絡等を行う際に、用件や連絡先等を書いて近くの方に協力をお願いするコミュニケーションツールとしてご利用いただくものです。1983年に千葉県流山電報電話局（当時）に寄せられたお客様のご要望をヒントに発行して以来、毎年内容を充実させながら継続して発行し、今年で34年目となります。

本手帳には、電話に関するお問い合わせ等の案内や、災害・緊急時に役立つ「災害用伝言ダイヤル（171）」「災害用伝言板（web171）」の情報等も掲載しています。

また、手帳本体にはリサイクルペーパーを使用するなど、地球環境にも配慮し作成しております。

「ふれあい速達便」

耳や言葉の不自由な方のコミュニケーション手段として、ファクスを簡単にご利用いただくためのファクス送信用紙です。

今回、2016年版の発行にあたり、2016年3月4日（金）に、京都市保健福祉局長室にて寄贈式を行います。詳細については、以下のとおりです。

■ 寄贈式について

1. 寄贈日時：2016年3月4日（金）午後1時15分
2. 寄贈先：京都市保健福祉局 局長 高木 博司 様
3. 寄贈場所：京都市保健福祉局長室（京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地）
4. 寄贈者：西日本電信電話株式会社 京都支店 支店長 佐々木 康之
5. 寄贈部数：「電話お願い手帳」940冊、「ふれあい速達便」1,495冊

※寄贈式を取材いただける場合は、あらかじめ下記連絡先へご連絡いただきますようお願いいたします。

本件につきましては、京都市保健福祉局におかれましても京都市政記者クラブに発表されます。